

水産加工統計調査（平成28年）

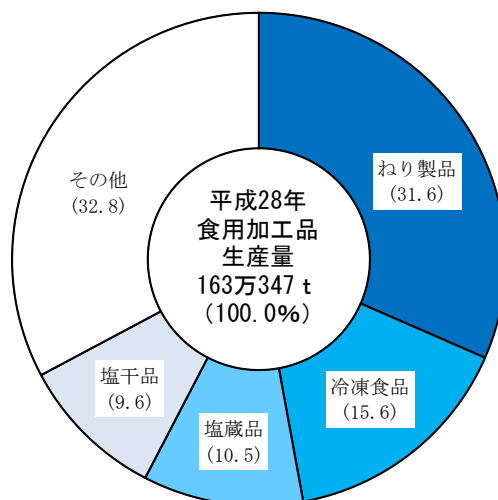
食用加工品及び生鮮冷凍水産物の生産量は
前年に比べそれぞれ3%、1%減少

【調査結果の概要】

平成28年の食用加工品の生産量（焼・味付のりを除く。以下同じ。）は163万347 tで、前年に比べ3%減少し、平成25年に比べ5%減少した。

生鮮冷凍水産物の生産量は140万1,661 tで、前年に比べ1%減少し、平成25年に比べ1%増加した。

図1 食用加工品生産量の主要加工種類別構成割合（全国）（平成28年）



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

表1 主要加工種類別食用加工品及び生鮮冷凍水産物の生産量（全国）

区分	単位	平成25年	27	28	対25年比	対前年比
					%	%
食用加工品	t	1,715,924	1,681,583	1,630,347	95	97
ねり製品	〃	528,438	530,137	514,397	97	97
冷凍食品	〃	256,935	258,481	253,851	99	98
塩蔵品	〃	197,845	184,655	171,171	87	93
塩干品	〃	166,714	164,566	156,310	94	95
その他	〃	565,992	543,744	534,618	94	98
焼・味付のり	千枚	7,003,728	7,284,166	7,108,688	101	98
生鮮冷凍水産物	t	1,382,604	1,416,228	1,401,661	101	99

注：1 加工種類とは、製造方法や保存方法により水産加工品を分類したものである。
 なお、水産加工品とは、水産動植物を主原料（原料割合で50%以上）として製造された、食用加工品及び生鮮冷凍水産物をいう。
 2 平成25年値は2013年漁業センサス結果である。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/suisan_ryutu/suisan_kakou/index.html#y 】

◎ 調査結果の利活用

「水産加工業施設改良資金融通臨時措置法」(昭和52年法律第93号)に基づき、融資の対象となる指定魚種の検討、融資を行う水産加工品の生産動向の把握等の資料として利用されている。

◎ 累年データ

水産加工品生産量の推移(全国)

年次	食 用 加 工 品					
	計	ねり製品	冷凍食品	素干し品	塩干品	煮干し品
	t	t	t	t	t	t
平成19年	1,930,546	605,841	283,667	22,585	212,002	72,409
20	1,940,485	563,829	333,185	22,032	211,461	71,240
21	1,849,505	520,723	306,591	17,003	227,155	65,418
22	1,817,230	533,624	291,970	15,914	212,990	67,918
23	1,722,554	531,587	252,992	16,198	190,225	57,088
24	1,727,969	538,329	263,212	15,799	177,678	61,167
25	1,715,924	528,438	256,935	13,466	166,714	64,316
26	1,704,833	531,982	263,164	14,549	162,353	59,826
27	1,681,583	530,137	258,481	13,558	164,566	63,342
28	1,630,347	514,397	253,851	11,489	156,310	56,243

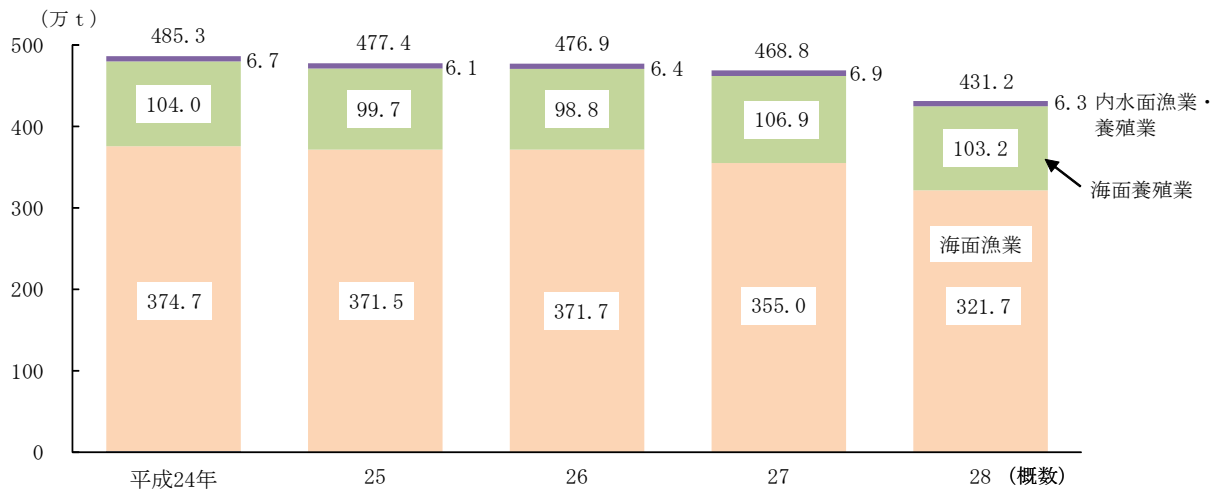
年次	食 用 加 工 品 (続 き)					生鮮冷凍 水産物
	塩蔵品	くん製品	節製品	その他の 食用加工品	焼・味付 のり	
	t	t	t	t	千枚	t
平成19年	190,370	7,871	107,332	428,469	7,652,951	1,657,243
20	194,100	11,806	103,789	429,043	7,976,604	1,655,415
21	206,368	11,165	101,666	393,416	7,357,874	1,615,983
22	193,794	10,881	98,456	391,683	7,137,237	1,539,592
23	191,535	10,158	94,584	378,187	6,883,586	1,250,647
24	198,445	9,031	91,393	372,915	6,736,545	1,257,111
25	197,845	8,178	90,623	389,409	7,003,728	1,382,604
26	191,121	7,582	88,770	385,486	7,057,380	1,485,406
27	184,655	6,475	83,833	376,536	7,284,166	1,416,228
28	171,171	7,304	81,523	378,059	7,108,688	1,401,661

注：食用加工品の「計」には焼・味付のりは含まれていない。

資料：農林水産省統計部『水産加工統計調査』。ただし、平成25年は『2013年漁業センサス』。

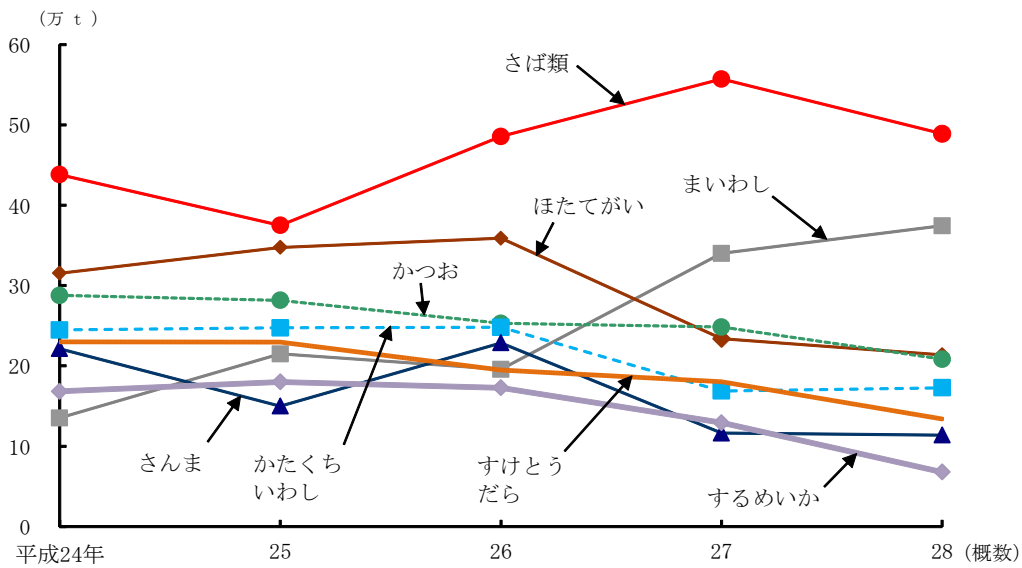
◎ 関連データ

1 漁業・養殖業生産量の推移（全国）



資料：農林水産省統計部『平成28年漁業・養殖業生産統計』（2まで同じ）。

2 海面漁業主要魚種別漁獲量の推移（全国）



【調査結果】

1 食用加工品の主な品目別生産量

(1) ねり製品

ねり製品の生産量は51万4,397 tで、前年に比べ3%減少した。

品目別にみると、ねり製品生産量の約9割を占めるかまぼこ類は45万4,821 tで、前年に比べ3%減少、魚肉ハム・ソーセージ類は5万9,576 tで前年並みとなった。

図2 ねり製品生産量の品目別構成割合 (全国) (平成28年)

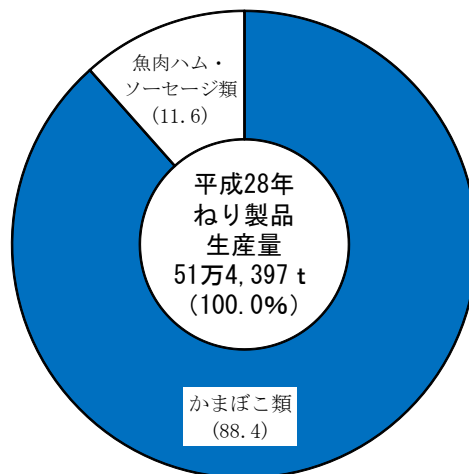


表2 ねり製品の品目別生産量 (全国)

区 分	平成27年	28	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
ねり製品	530,137	514,397	△ 15,740	97
かまぼこ類	470,563	454,821	△ 15,742	97
魚肉ハム・ソーセージ類	59,574	59,576	2	100

(2) 冷凍食品

冷凍食品の生産量は25万3,851 tで、前年に比べ2%減少した。

品目別にみると、魚介類（切り身、むきえび等の加工品）は12万7,307 t、水産物調理食品は12万6,544 tで、前年に比べそれぞれ2%減少した。

図3 冷凍食品生産量の品目別構成割合 (全国) (平成28年)

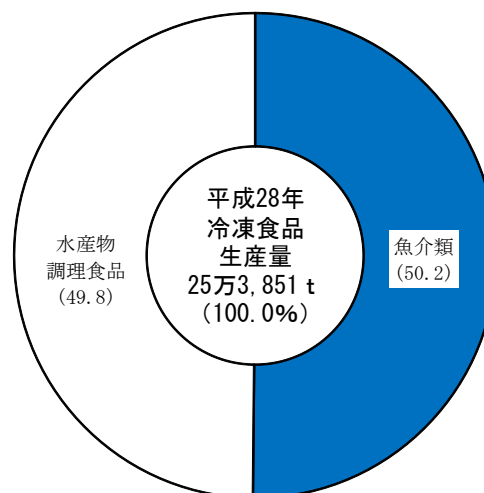


表3 冷凍食品の品目別生産量 (全国)

区 分	平成27年	28	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
冷凍食品	258,481	253,851	△ 4,630	98
魚介類	129,977	127,307	△ 2,670	98
水産物調理食品	128,504	126,544	△ 1,960	98

(3) 塩干品

塩干品の生産量は15万6,310 tで、前年に比べ5%減少した。

主な品目別にみると、ほっけは3万3,294 tで、前年に比べ8%の増加、あじは3万1,236 t、さばは2万2,471 t、さんまは1万6,031 t、いわしは1万2,049 tで、前年に比べそれぞれ3%、20%、7%、7%減少した。

図4 塩干品生産量の主要品目別構成割合（全国）（平成28年）

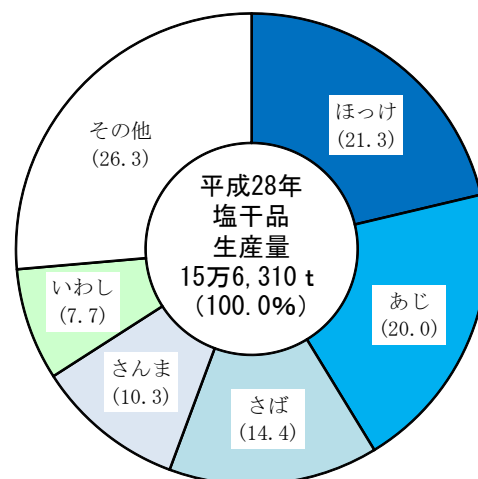


表4 塩干品の主要品目別生産量（全国）

区分	平成27年	28	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
塩干品	164,566	156,310	△ 8,256	95
うちほっけ	30,944	33,294	2,350	108
あじ	32,286	31,236	△ 1,050	97
さば	28,080	22,471	△ 5,609	80
さんま	17,245	16,031	△ 1,214	93
いわし	12,933	12,049	△ 884	93

(4) 塩蔵品

塩蔵品の生産量は17万1,171 tで、前年に比べ7%減少した。

主な品目別にみると、さけ・ますは8万4,774 t、さばは3万7,622 tで、前年に比べそれぞれ3%、15%減少し、たら・すけとうだらは1万2,694 tで、前年に比べ12%増加した。

図5 塩蔵品生産量の主要品目別構成割合（全国）（平成28年）

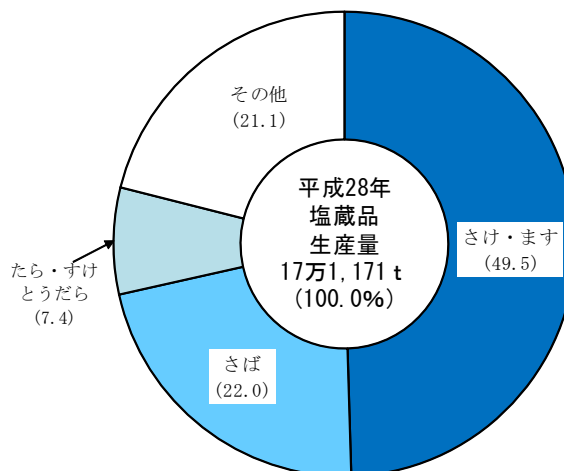


表5 塩蔵品の主要品目別生産量（全国）

区分	平成27年	28	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
塩蔵品	184,655	171,171	△ 13,484	93
うちさけ・ます	87,587	84,774	△ 2,813	97
さば	44,355	37,622	△ 6,733	85
たら・すけとうだら	11,373	12,694	1,321	112

2 生鮮冷凍水産物

生鮮冷凍水産物の生産量は140万1,661 tで、前年に比べ1%減少した。

主な品目別にみると、さば類は41万327 t、いわし類は38万1,506 t、さんまは8万4,626 tで、前年に比べそれぞれ8%、16%、6%増加し、さけ・ます類は8万3,781 t、ほたてがいは7万8,118 tで、前年に比べそれぞれ19%、10%減少した。

図6 生鮮冷凍水産物生産量の主要品目別構成割合（全国）（平成28年）

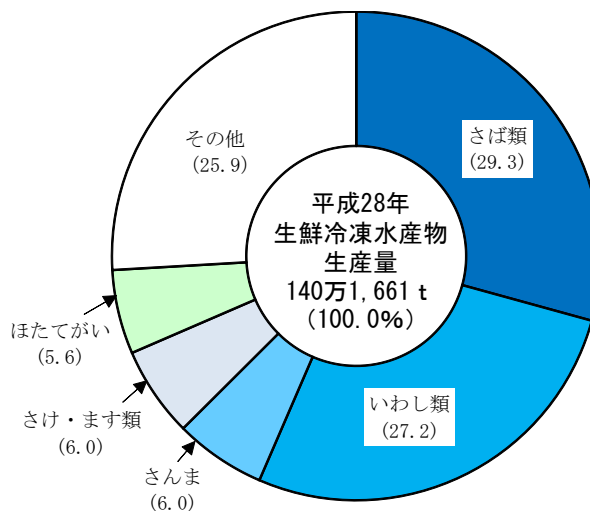


表6 生鮮冷凍水産物の主要品目別生産量（全国）

区分	平成27年	28	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
生鮮冷凍水産物	1,416,228	1,401,661	△ 14,567	99
うち さば類	380,965	410,327	29,362	108
いわし類	329,168	381,506	52,338	116
さんま	80,105	84,626	4,521	106
さけ・ます類	103,882	83,781	△ 20,101	81
ほたてがい	86,799	78,118	△ 8,681	90